



IMJ NEWS LETTER

発行: 一般社団法人 日本統合医療学会 本部 〒112-0013 東京都文京区音羽1-1-9 Email : info@imj.or.jp FAX : 03-6912-0376

認定施設紹介

(財)おきなわ健康長寿研究開発センター付属 うるまライフケアクリニック

院長挨拶

院長 一石 英一郎

(財)おきなわ健康長寿研究開発センター付属うるまライフケアクリニックは最新のエビデンスに基づいた統合医療、アンチエイジング医療を提供する場を目指しています。

欧米では科学的に根拠のある様々な点滴療法が代替統合医療の現場で広く行われています。



当院では、欧米の先進医療でもある高濃度ビタミンC点滴療法、プラセンタ療法、ビタミンカクテル点滴（マイヤーズカクテル）等を行いつつ、代替医療として沖縄を拠点として全国展開し、韓国、中国にも広まりつつある温熱療法（琉球温熱療法院）と連携しながら、栄養療法とも組み合わせて患者のニーズに合わせた統合医療の実践を行っています。



場所は、沖縄県中部にあるうるま市に位置し、このエリアは平成12年に世界遺産の指定を受けた勝連城（写真右中）があり、また地元のエイサー（沖縄県でお盆の時期に踊られる伝統芸能）は「日本の音風景百選」にも認定されています。海沿いの海中道路は沖縄全県を代表する絶景、風光明媚な場所として知られ、国内外から多くの観光客が訪れます。



(財)おきなわ健康長寿研究開発センター付属
うるまライフケアクリニック

〒904-2244 沖縄県うるま市江洲602番地
おきなわ未病ケアセンター1階

TEL : 098-975-0118 FAX : 098-975-1277

<http://www.urumalife.sakura.ne.jp/>

うるまライフケアクリニックは最先端の点滴療法をご提供できるように最新の医学情報に基づいて、代替医療とも連携しながら温熱療法や栄養・代謝改善にも着目して、常に患者様が安全・安心に診療が受けられるような場を提供しています。



診療内容

【高濃度ビタミンC点滴療法】

高濃度ビタミンC点滴療法は、その効果効能について米国の権威ある科学雑誌PNASにおいて紹介され、米国国立衛生研究所(NIH)や国立癌研究所(NCI)が注目し、カンザス大学やジェファーソン大学では卵巣ガン、子宮ガン、悪性リンパ腫の患者について臨床研究が進行しています。欧米では1万人以上の医師がガン治療に高濃度ビタミンC点滴療法を採用しています。またビタミンCはアンチエイジング成分として近年ますます注目され、健康増進や疾病予防の分野でもその効果が大きいと期待されています。

【胎盤（プラセンタ）】

胎盤（プラセンタ）は胎児と母体のインターフェイスとして各種栄養成分や成長因子の供給、排泄物などの処理を行っています。プラセンタ注射液はヒト胎盤のエキスで、多種のアミノ酸やビタミン・ミネラルを豊富に含み、新陳代謝や血行を促進して免疫力・自己治癒力を高めるため、様々な疾患に適用されています。クレオパトラや楊貴妃、秦の始皇帝らがプラセンタを通して夢見た不老長寿は、生を育むプラセンタという素材と最先端の科学が一緒になった今、意外と手の届く所まで来ているのかも知れません。

【そのほか】

米国の代替統合医療のクリニックでは定番の点滴療法であるマイヤーズカクテル、ビタミン・ミネラル点滴に加えて、食品に分類される漢方剤の処方など、患者の症状や適応に合わせたメニューを行っています。ガン患者以外には、慢性疲労、不眠、肌荒れ、やせにくい、イライラ情緒不安定、うつ気味などの諸症状について、最新のエビデンスに基づいた医療により、これまでなかなか改善が見られなかった方にでも著明な体質改善効果が期待されています。

上記のような先進的な医療に加えて、後述する琉球温熱療法院とも連携しながら、アミノ酸、ビタミン、ミネラルの効能に着目した栄養療法、サプリメント療法を併せて、患者様のニーズに合わせた統合医療の実践に取り組んでいます。



提携施設紹介

琉球温熱療法院：沖縄県北中城村の閑静な山あいにある琉球温熱療法院は、院長 屋比久勝子が従来の温熱療法を改良・発展させて平成11年に設立した温熱療法院。免疫力・自然治癒力を高めてカラダ全体を根本から健康に導く「全身療法」として評判を呼び、沖縄県内はもとより、県外、海外からの訪問客で連日込合っている。

